

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2021年(令和3年)6月1日

会報 第117号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】#9E2,street432,Sangkat Boeng Tumpum,
Khan Meancheay,Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707【ホームページ】 [カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

シェムリアップの小学校に新校舎完成

京都大学の学生サークル「パンピット」の資金協力により、昨年からの建設が行われていた「ポーセレイ小学校」(シェムリアップ県・チークラエン郡・コンボンクダイコミュニティ・ポーセレイ村、生徒数=223人)の新校舎(3教室)がこのほど完成し、教室の利用が開始された。

本来なら寄贈者が出席して贈呈式を行うところだが、コロナ禍でカンボジアへの渡航が難しく、今後折りをみてオンラインで実施する方向で、調整している。

「パンピット」は京都大学内のサークル、本会を通じてのカンボジアでの学校建設は一昨年に続いて2校目(通算では5校目)。コロナ禍で建設資金を集めるのに苦心惨憺したが、皆さんの努力が実り、建設資金の全額を集めることができた。新校舎での授業が始まり、生徒たちの元気な掛け声が教室内に響いていた。



↑3教室の立派な校舎ができました



↑早速勉強が始まりました

思いもよらず感染爆発が起きてしまった

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長

根岸恒次

ここは東京か?と思わせる新型コロナウイルスの感染爆発が、カンボジアの首都プノンペンで起きている。

毎日500人前後のコロナ感染が確認され、市当局は4月下旬、とうとうロックダウン(都市封鎖)に踏み切った。違反者はむち打ちもあるというおまけつき。

昨年まで、累計でも年間500人程度だったのが、4月以降一気に10,000人を超え、死亡者も昨年までゼロだったのが、100人に迫っている。在カンボジア日本人も2人が感染したという。

なぜ急激に拡大したのか、前号で既報の通り、4人の某外国人が警備員に賄賂を渡し隔離ホテルを脱走、

プノンペン市内の繁華街で菌をばらまいたことも原因の一つだが、どうやらそれだけではなさそう。

感染予防のため1000人、2000人規模の縫製工場などで働く従業員全員をPCR検査したところ、いくつもの工場で500人以上の感染が確認されたそう。空港検疫以外ではほとんど検査してこなかったつけを払われている、といったところ。

感染が収まるまで、当分カンボジア訪問はお預けではあるが、コロナに負けてはならない。遅ればせながら本会事務局にZOOMが出来る環境を整備、現地とオンラインで交流する態勢が整った。里子訪問学

校の授業参観、校舎や井戸の贈呈式などをオンラインで行う方向で、目下準備中。

明るいニュースもある。この程教育里子8人がめでたく高等学校を卒業、半数が大学に進学、他の教育里子も当面就職し、お金を貯めて大学を目指すという。

カンボジアでも近年大学が増え、子どもたちが学べる環境が整ってきたようだ。



→ロックダウン(都市封鎖)中のプノンペン市内

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば76年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さんありがとう

【教育里親会費】子ども1人につき1年間3万円。

- ・内訳
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。
(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援してください。まずは、子どもの名前を添えて事務局までご一報ください。(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください) また、既に里親をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツ・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854
FAX 03・3557・1213

現地スタッフからのカンボジアレポート

ボレイ

カンボジアは、プノンペンなどの都市でコロナが蔓延し、ロックダウン(都市封鎖)が行われています。しかしコロナが少ない田舎では、普通の生活をしています。

全国の学校が休校していますが、一部はオンラインで授業しています。

今年は雨季が早くいつも5月からですが、4月から雨季が始まりました。いつも4月の「クメール正月」は猛暑ですが、今年は雨が降りましたので、そんなに暑くありませんでした。

今はマンゴーがおいしい季節です。

子どもたちもマンゴーが大好きです。



テウム・モニーちゃん
(女の子)

●家族構成＝母親死亡し父親のみ。姉1人、妹が4人いる。現在父親、姉妹と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で20分。

リャサマイサマキー小学校
4年生(11歳)

プム・シヴォーンちゃん
(女の子)

●家族構成＝母親死亡し父親のみ。弟がいる。現在父親、弟と暮らす。
●好きなこと＝絵を描くこと。
●学校まで徒歩で20分。

リャサマイサマキー小学校
5年生(11歳)

ルウーン・ラックサーちゃん
(女の子)

●家族構成＝父親離婚し母親のみ。現在母親と暮らす。
●好きなこと＝絵を描くこと。
●学校まで徒歩で15分。

スロン小学校
4年生(11歳)

ポーン・スレイピアちゃん
(女の子)

●家族構成＝父親離婚し母親のみ。姉がいる。現在母親、姉と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で10分。

スロン小学校
6年生(13歳)

シー・ホイナーちゃん
(女の子)

●家族構成＝父親離婚し母親のみ。妹がいる。現在母親、妹と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で15分。

リャサマイサマキー小学校
3年生(9歳)

投稿 メコン川とフェリー

青木貴之(プノンペン在住、会社員)



カンボジアのメコン川には、3つの日本のODAで建てられた橋(キズナ橋、プノンペンの日本橋、ツバサ橋)があります。他にも新しく橋が作られています。まだまだ橋は少ないのでフェリーが活躍しています。

フェリーで地図にない経路を近道すると、巧みにカンボジアを冒険しているという気持ちになりワクワクしてきます。タイミングが悪いと30分ぐらい待つことになりますが、橋があるところまで遠回りする事を考えると楽なものです。

料金はバイクなどで50円、車などで250円ぐらいです。乗り場やフェリーの上に売店や売り子があり、ちょっとした食べ物を売っていたり、楽しい雰囲気です。

ゆるいカンボジアですので、運転室や運転の様子を見学したりさせてもらう事も難しくありません。

写真の場所は、クロチェ州の街から北へメコン川を上ったあたりになります。

数キロ北へ上りますと、川イルカの生息地になります。一度だけ見学しましたが、確かにイルカはいます。探すコツは、汐吹き音のする方向に注目することです。背中しか見ることが出来ず、いったいどんな姿の動物なのかはわかりませんでした。とても楽しめました。

投稿 カンボジアの教育に一石を投じたいその前に

中野栄(ペンネーム＝さかえずきん)

初めまして、さかえずきんと言います。縁あってカンボジアと出会い、3月に来たばかりです。

私がこれまでに得た手持ちのカードは「教育」と「デザイン」です。なのでこれから、カンボジアの子ども達の未来を広げるため「元気な教師を増やす」ということに挑戦したいです!

私がカンボジアに来る事を決めてから、自分なりに調べつつ仮説をたてました。それは「カンボジアの教師は待遇が低いため、優秀な人材が集まらない」というものです。(断っておきますがこれは、どこそこの誰先生がどうしたという局所的な話ではなく、これまで、そしてこれからの大きな流れとしての話です)優秀な先生が居なければ、良質な教育はあり得ない。

とはいえ、自分が勉強した本やネットの情報に限界を感じて今年3月にカンボジアに来たわけですが、学校を作ることを目指しているカンボジア人の話によれば、ここ数年、教師(公務員)の待遇は急激に上昇、すでに職業としての人気は上がってきている状態だという事です。

なるほど仮説は立て直しですね。しかし「元気な教師を増やしたい」ことに変わりはありません。



活動はYoutubeで発信しています。多くの人の目に触れ、より多くの知見を集めながら理解を深めていければと思っています。(さかえずきん、と検索してくだされば出ます)

いままさに幕を上げた、カンボジアでの挑戦。(プノンペン在住)

カシューナッツ



■カシューナッツ
3月、4月はカシューナッツがたくさん実るそう。りんごみたいな実の中に1粒の種。高価な所以だ。



パブストリート

外国人がたくさんいた頃がなつかしい

シエムリアップの中心にある「パブストリート」。西風の洒落た店がたくさんあり、いつ行っても外国人が溢れていたが、今は犬も通らない。コロナ禍で外国人が来なくなつたからだ。
この惨状、いつまで続くやら。



逃がすと幸福に

川沿いでよく見かけるのが、カゴに入った小鳥。飼うために売るのはなく、小鳥を買い取る場では、逃げた鳥はまたちま

鳥を逃がすと幸福に!?



竹橋

重い荷物は持てません

カンボジアの田舎でよく見かけるのが、竹で作られた橋。勿論車は通れない。バイクで通るのが精いっぱい。

ウオッチカンボジア



■一面に広がる蓮畑
カンボジアと蓮の花は切っても切れない仲。時々見かける蓮畑に咲く花に、心癒される人が少なくない。



蓮畑

■ロックダウンでも田舎は「クメール正月」
コロナ禍でプノンペンなどの主要都市ではロックダウン(都市封鎖)が行われたが、感染者が少ない田舎では、いつものように「クメール正月」(4月14日、15日)が行われた。住民の多くが食べ物やお金を持ち、近くのお寺に行き拝んでいた。



クメール正月



里子へのプレゼントは 随時受け付けています



- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってもらいます。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500 円
・お米(50キロ入り)	4,500 円
・通学用かばん	3,000 円
・ティシャツ2枚&サンダルセット	2,000 円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000 円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000 円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000 円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費(1人の里子につき3万円)の中から、42%に当たる12,600円を6回に分け、米ドルに換金して届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

3月下旬に2月と3月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。



支援金を届けました

カンボジアの学校は、コロナウイルスの感染拡大により休校中。次の支援金を届ける頃には開校することを願っている。



高校を卒業した
モン・ニターちゃん

そうした中でも、今年は8人の里子が高等学校を卒業、半数が大学に進学、残る里子たちも、教育資金を稼ぐため1〜2年就職、その後の大学進学を夢みている。「クメール教育里親基金」の成果が実り、教育支援してくれている里親様には感謝している。

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約320人の子どもたちを教育支援している。

カンボジアでは、新型コロナウイルスの感染爆発により、感染者累計はあつという間に1万人を超えた。死亡者も百人に迫る勢いで、すべての学校が休校となり、一部の学校ではオンライン授業を行っている。

コロナの影響でカンボジア経済が打撃を受けていて、貧困家庭の子どもたちは生活を助けるため、学校をやめて就職するケースが増えてきた。

クメール教育里親基金活動レポート

投稿

ぬいぐるみが箱の中で眠っています

加藤知恵子



20周年おめでとうございます。

20年間カンボジアへの支援活動、ご苦労様でございます。

私がお付き合いし始めたのは15年くらい前、「カンボジアの子どもの教育里親になって下さい」という10人程度の子どもの写真が載ったものを見た時からです。

その頃息子も写真と同じくらいの年で、日本人の子どもがこんなに幸せなのに、可哀想な子もいる。一人でも助けたいと思ったのがきっかけでした。

最初の男の子は両親がいない子で、息子の文具、お菓子、自転車などを送り、初めてだったのでよく覚えてます。

その後も女の子、男の子と何人か代わり、その間に子供たちに可愛く癒しをと、ぬいぐるみ支援を始めました。

今世界中にコロナが蔓延し、理事長さんさえ行きづらくなっております。

ぬいぐるみも皆様の好意で頂いたものが、箱の中で眠っています。

一日も早く普通の生活に戻れるよう祈るばかりです。

(埼玉県、里親会員)



休み
時間



授業



登校

子どもたちの一日

カンボジアの田舎で暮らす子どもたちの一日です。朝起きて朝ごはんを食べたら学校へ⇒午前7時〜11時は教室で勉強(午後1時〜5時に勉強する子もいます)⇒休み時間は楽しいおやつ⇒勉強が終わるとみんなで下校します⇒帰宅後は牛の世話をしたり家の掃除をします(最近は塾に通う子が増えてきました)⇒夕食の支度を手伝います⇒夕食後は宿題したり読書して9時頃までには床につきます。



夕食



夕食の
支度



下校

投稿

支援を通じて学んだ親のあり方、自分のあり方

上園陽子

海外の子どもへ支援をしたい。そう考えるようになったのは、自分が母親になってからでした。

本格的に支援先を捜し始めた頃、中学の娘の不登校に悩んでいた私は、この会をネットで見つけました。

学校に行きたくても行けないカンボジアの子供。同じ子どもであるのに、なぜ国が違うだけでこんなに違うのだろう?

その違いに衝撃を受けた私は、何か学べることもあるのではないかと思います。支援を始めたのです。

娘に、そういった子どもの存在を知って欲しかったという想いもありました。

そうして娘とそう年の変わらない女の子を、支援することになりました。

彼女から届く手紙は、いつも感謝の言葉や家の手伝いを頑張っている様子が伝わってきます。

私は娘に、自分の想いを伝えているだろうか?娘を変えるのではなく、自分が変わらなくては。

そうして色々試行錯誤してきたところ、笑顔が消えていた娘が楽しそうに笑うようになり、今は通信高校で頑張っています。

支援を通じて、自分のあり方、親のあり方を学べたと感じています。

結局、当時支援していた彼女は働くために学校を辞めてしまったのですが、今まで学んできたことを糧に、道を切り開いていけると信じています。

世界中の子ども達が何の不安も心配もなく、笑っていられる世の中になるように、微力ながら頑張っていきたいです。



(鹿児島県、里親会員)

投稿

雨水を溜めての生活、 鍋2つと塩だけの家の中

佃 絹代

水道が出て当たり前、電気がつき当たり前の生活をしている私達。

平成14年にこの会を知り里親となり、カンボジアにボランティアとして訪問しました。

里子が通う小学校と、里子が暮らす家を訪問しました。雨水を溜めての生活、2つの鍋と塩だけの家の中、訪問を終わり日本に帰ると、毎日の生活が贅沢に思われました。手を伸ばせば何でもあります。わが国に感謝です。

わが国も第二次大戦の苦痛を味わい、国を挙げて乗り越え今になったのですね。カンボジアも、ポル・ポトや内戦で無茶苦茶にされました。

貧しくて学校に行けない子がおります。国を守るには、子どもに教育をしてほしいものです。

里子が何回か代わりました。途中で学校をやめて、働きに行くのです。私は大きな事は出来ませんが、一人の里親として支援していきたいと思っています。

最近は訪問していませんが、当時の会員さんと、また訪問したいねと話しています。コロナ禍の今、いつになることやら。

「創立20周年記念祝賀会」にも行きたかったのですが、コロナがあつて控えました。



(福井県、里親会員)

本会の会員状況をお知らせいたします

(2021年4月末日現在)

●教育里親会員	223名
●個人会員	93名
●団体会員	9団体
●寄付協力者(単発)	54名
合計	379名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■本会報1面の右上に、QRコードをつけました。そこから本会のホームページに入れますので、活用お願いいたします。

■今号では3人の里親会員様に投稿して頂きました。ありがとうございました。次号も予定しておりますので、投稿をお寄せください。よろしくお願いいたします。

■長引く自粛生活、会員の皆さんにはくれぐれも健康に留意なさいますよう。一日も早くコロナが収束しますこと、お祈りいたします。

活動に参加しませんか

正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)
子どもたちへ直接払う年額
1万2千6百円(42%)
会の運営に回す年額
1万7千4百円(58%)
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

*** **

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】
21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆづちょ銀行】
019支店 当座 0160916

【りそな銀行】
練馬支店 普通 4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～街角のマスク売り～

2月20日に武漢コロナ隔離施設から脱走した中国人4人により、カンボジアには市中感染が広まってしまう。それまでPCR検査陽性者は484人、死者はゼロだったが、一気に増え、3月28日現在で2,273名、死者は合計11名となりました。それぞれ日本の200分の1と1,000分の1。米国の1万分の1と50万分の1。なのに国を上げての大騒ぎ。

当局は拡散を怖れて各所を封鎖したり、指定場所でのマスク着用義務化を通達。違反すると罰金!!。なので、街角のマスク売りが拡散。テーブルにマスク箱を積み上げて販売しています。自動音声で「10枚2,000リエル!、10枚2,000リエル!、10枚2,000リエル!」を繰り返しています。1枚約5円です。

販売員は日がな一日椅子に座ってスマホの画面にとらめっこしています。街中はマスク姿ばかりで異様な感じ。バイクで走る時もマスク。このマスクの隙間を拡大すると縦横5マイクロメートル(百万分の5メートル)。ウイルスは直径0.1マイクロメートル。ウイルスは素通りです。気休めですね。

ウイルスは空中に浮いていて呼吸で体内に入るのではなく、ドアの取っ手などに付着していて手に付着し、その手を鼻と口辺りに持つことで体内に入ります。世界に大きな勘違いが拡散しています。

追記: 4月29日現在の累計陽性者12,641人、死者が92人と急激に増えました。1ヶ月でそれぞれ約10,000人、81人の急増です。それ故、プノンペンやシェムリアップ等数ヶ所がロックダウン(都市封鎖)中です。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

カンボジアミニミニNEWS

4月から雨季に突入

カンボジアの雨季はおよそ5月～10月(乾季は11月～4月)だが、現地住民によれば今年は4月から雨季に入ったらしい。例年だと、クメール正月(4月中旬頃)は雨が降らず、うだるような暑さだが、今年の正月は雨が降り、猛暑にならなかったそう。温暖化による気候変動が原因か?

ワクチン接種、ASEANで2番目の速さ

カンボジアのワクチン接種について、アセアン(ASEAN)諸国の中で、シンガポールに次いで2番目の速さで進んでいることが、明らかにされた。カンボジアでは2月10日から接種が始まり、4月30日現在、約130万人が接種を済ませた。ワクチンの大半が中国製。

カンボジア初のロックダウン(都市封鎖)実施中

2月20日、プノンペン市で爆発的市中感染が発生した。4月27日現在、カンボジアでの感染者累計総数11,761人、死者88人となっている。毎日500人前後の新規感染者が確認されている。特に感染者が増えているプノンペン、シェムリアップなどが4月14日から5月5日まで、ロックダウン(都市封鎖)の措置に踏み切った。感染者が減少しないと、更に延長される恐れもある。

外国人観光客の受け入れ?

新型コロナウイルスにより打撃を受けた観光業を回復させるため、カンボジア政府はワクチンを接種した外国人観光客について、アンコールワットへの受け入れを許可する方針だという。観光大臣によれば、受け入れは第4四半期(10月以降)に開始する見込みで、入国時の14日間の隔離も免除されるといふ。昨年、カンボジアを訪れた外国人観光客は131万人で、前年度から80%減少している。

全国206カ所の縫製工場が一時閉鎖

カンボジア労働省によれば、新型コロナウイルスの影響を受け、全国の縫製工場のうち206カ所が一時閉鎖された。全国で1,673人がコロナ陽性になり、約17,000人が隔離待機中とのこと。



クメールの微笑みに会えるのはいつの日か

きりとり

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	〒 (TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

* 入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。